

今回のヒアリング事項

1. 地方自治体

(ヒアリングの際にご説明いただきたい項目)

- 分別排出について、住民からはどのような要望がなされているか。また、分別排出を進める工夫、分別排出について住民の理解を得る工夫はあるか。
- 容器包装プラスチックの収集選別を行う際に困っていることは何か。収集選別コストは現在どうなっており、これを抑制するための提案はあるか。
- 収集選別の高度化の観点から、以下のような取組をした場合どのような問題が生じるか。
 - ・表示マーク等を付す、堅いもの・大きいもの等予め条件を決めておく等により、材料リサイクル用、ケミカルリサイクル用と容リプラスチックを分けて収集又は選別すること。
 - ・ラップ類等塩素分の多い容器包装プラスチックを特定し、燃やすゴミとして収集すること。
 - ・排出容器のすすぎの徹底と汚れ除去困難物の排出回避など、有機物の除去の徹底
- 上記以外の容器包装リサイクル制度の高度化に向けてどのような主体にどのような協力を求めたいか。
- 品質の良いベールを回収する市町村は、材料リサイクル手法を選択できるものとすることは可能か。

(ヒアリングの際に資料提出の形で意見提出をお願いしたい項目)

- プラスチック容器包装リサイクル制度への参加自治体数が増えるためには、どのような制度改善がなされるべきか。
- 白色トレイの回収率向上の可能性
- 上記のほか、現在の容器包装リサイクル制度への要望はあるか。
- 審議会におけるＬＣＡ等のリサイクル手法の評価に関する議論への意見はあるか。

2. 消費者

(ヒアリングの際にご説明いただきたい項目)

- どのような分別、どのぐらいの回収頻度なら消費者として受け入れることが可能か。(現状のままか。表示があればできるか。例えば、袋、トレーとふた、ボトルのような形状ごとの分け方ならどうか。)
- より高度な分別には具体的には、どのような普及啓発等の施策が効果をあげているか。
- それぞれの再商品化手法について消費者はどうみているか。
- ペール品質向上のためには、どのような措置、取組がなされるべきと考えるか。
- 上記のほか、容器包装リサイクル制度の高度化に向けてどのような主体にどのような協力を求めたいか。

(ヒアリングの際に資料提出の形で意見提出をお願いしたい項目)

- 白色トレーの回収数増の観点から各主体は何ができると思うか。
- 上記のほか、環境負荷の削減にはどのような措置、取組が効果的と考えるか。
- 上記のほか、現在の容器包装リサイクル制度への要望はあるか。
- 審議会におけるＬＣＡ等のリサイクル手法の評価に関する議論への意見はあるか。